



2018年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社アドバネクス
代表者名 代表取締役社長 柴野 恒雄
(コード番号 5998 東証第1部)
問合せ先 常務取締役最高財務責任者 大野 俊也
(TEL. 03-3822-5865)

特別損失の発生および通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別損失の発生、および2017年5月11日に公表しました2018年3月期の通期連結業績予想値と実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 特別損失の発生およびその内容について

当社は2014年4月1日に深絞り加工技術を保有する船橋電子株式会社を子会社化し、さらに2015年4月1日にその事業を当社に編入していました。2019年3月期以降は、深絞り加工製品の売上高が増加し同事業の業績は回復していく見通しではありますが、同子会社化から2018年3月期までの業績を「固定資産の減損にかかる会計基準」に基づき、投資額と投資期間全体を通じた回収額について比較した結果、のれん代の60百万円を減損損失として2018年3月期において計上することになりました。

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2018年3月期通期連結業績(2017年4月1日~2018年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 20,000	百万円 400	百万円 380	百万円 240	円 銭 58.78
実 績 値 (B)	20,294	259	237	49	12.21
増 減 額 (B - A)	294	△140	△142	△190	-
増 減 率 (%)	1.5%	△35.1%	△37.5%	△79.2%	-
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	17,858	247	346	67	16.46

(2) 差異が生じた理由

上述の特別損失に加え、埼玉工場やメキシコ工場などの新工場における先行投資の負担が増加したことなどから営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

以上